

鏡川流域パートナーシップだより No.221 R7.6.18



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

高知大学の授業で「ぼっちり」を活用していただいています！



6月3日(火)、高知大学全学部対象の授業「地域活性化について学ぶ」の中で、本課職員が鏡川流域関係人口創出事業などに関する講義を行いました！(受講者：205名)

授業のテーマである「地域活性化」を考えるに当たり、まずは**自分**にできることから**主体的**に取り組むことで、少しずつ地域が変わっていくのではないかと話をさせていただきました。自然環境を含めた身近な地域課題に「自分ごと」として関わるきっかけとして、まちのコイン「ぼっちり」を紹介し、授業の中で実際に活用していただきました。

「誰か」ではなく「自分」ができる**鏡川への関わり方**を、「ぼっちり」の体験を通じて学生さんに送っていただきました。そのコメントを本課職員のスマホアプリ「スポット専用アプリ」ですぐに確認し、授業の中で読み上げて紹介しました！

学生さんからのコメントの一例

「清掃ボランティアに参加したり鏡川沿いをウォーキングしたりすることで、より鏡川について知ることができると思う」「とにかく地形や観光スポットを覚えて、それから自分ができることを考える！闇雲にやるより地道な活動をしてみたい」

「ポケモンGO。ポケモン(ぼっちりモンスター)をいっぱいやってみんなに捕まえてもらう」というアイデアが届き、本課職員が読み上げると、学生さんから笑いが起こりました！ユニークなアイデアです！

授業後も継続して「ぼっちり」を使い、毎日、クイズや体験を通じて鏡川流域の情報に触れている学生さんもいます。今後、鏡川流域のイベントなどでまたお会いできればと思います！



6月12日(木)には、高知大学全学部対象の授業「地域キャリア論」の中でも、本課職員が鏡川流域関係人口創出事業などに関する講義を行いました。(受講者：92名)

授業のテーマは「地域キャリア」。地域で主体的に活動することで、自己の可能性を広げ、地域活性化につなげる取り組み方のことです。ここでも、地域社会との関わりを考えるきっかけとして、「ぼっちり」を学生の皆さんに活用していただきました。

高知市の自然環境に関わった経験について、学生さんから届いたコメントの一例

「グリーンバード高知チームという清掃活動団体でごみ拾いをしました」「鏡川沿いの堤防を自転車で通りました」「鏡川の遊歩道で猫を可愛がった」



【授業終了後、学生さんが作成したレポートの抜粋】

- 自主的に行動することで得られる、人とのつながりや「ご縁」の大切さを学んだ。
- 鏡川との関わりは、1回生で受講した「課題探求セミナー」から始まり、現在もグリーンバード高知チームで清掃活動をしています。これからも鏡川と密接に、「自分ごと」として関わっていこうと思います
- 鏡地域は私の地元なので、誇りを持って大切にしていきたい。鏡地域と鏡川の良さを広めていきたい。
- 地域の問題については、どこか他人事だと思ってしまっているので、「自分ごと」として考えていきたい。

学生の皆さんの**主体的な学び**を後押しするツールとして、今後も「ぼっちり」を活用していただき、**鏡川流域の環境保全**と一緒に取り組んでいきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android